

2019年実施「逗子市商工会・地域経済動向調査」報告書

2020年2月28日

逗子市商工会

## 目次

1. 地域経済動向調査の目的
2. 地域経済動向調査の目標
3. 地域経済動向調査書の内容等
4. 地域経済動向調査の全体集計とグラフ化
5. 調査結果の視覚化（見える化）：景気判断指数
  - ・ 本調査における景気動向指数の定義
  - ・ 本調査における留意点
  - ・ 全産業の DI 指数（全産業の景況天気図）
  - ・ 逗子市商工会オリジナル指数
  - ・ オリジナル指数の集計と結果
6. 調査に関するお問い合わせ先

## 1. 地域経済動向調査の目的

逗子市商工会管内の地域経済概況や、事業者の現状、さらには躍動度等を把握し、その結果を基にした「商工会の事業者支援業務のあり方」を検討することである。

## 2. 地域経済動向調査の目標

地域経済動向調査の目標は主に以下の3点である。

- ・業種毎の景況感を可能な限り「視覚的に」表現する。
- ・業種毎の近未来における事業運営姿勢を「視覚的に」表現する。
- ・得られた景況感や事業運営姿勢を、商工会事業の施策に具体的に落とし込む。

## 3. 地域経済動向調査書の内容等

### ・調査書の内容

逗子市商工会ホームページにて確認ください。

### ・調査対象

調査対象は逗子市商工会 管内の会員事業者すべて（個人事業も含む）である。

### ・調査期間

2020年1月6日から24日迄

### ・調査実施と提出方法

会報紙と一緒に同封して郵送するとともに、一部webを介して実施

### ・調査並びに集計にあたっての特記事項

特記①：本調査におけるサービス業には、宿泊業、生活関連サービス業・娯楽業、医療・福祉サービス、学術研究・専門・技術サービス業、教育学習支援、運輸業、情報通信業を含む。またその他には、金融業、保険業のほか、製造業、卸売業、小売業、建設業、不動産業、サービス業、飲食業、農林水産業に分類されないものを含む。

#### 4. 地域経済動向調査の全体集計とグラフ化

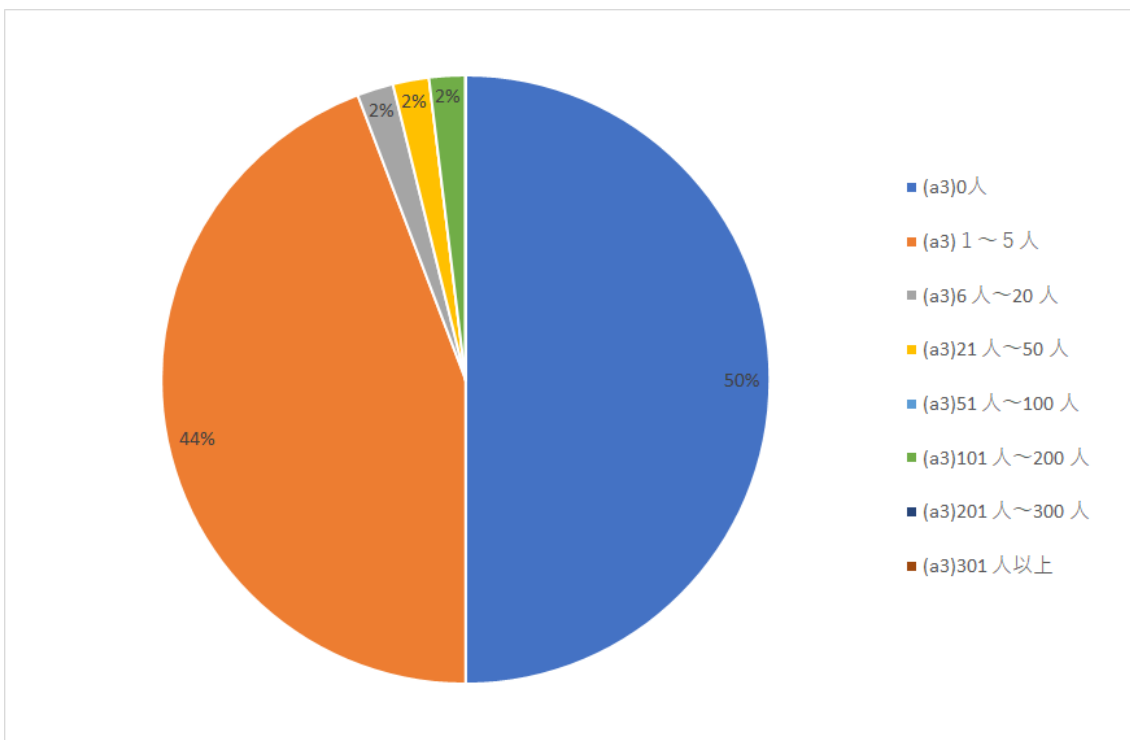
##### (1) 回答業種構成比

製造業	0
卸売業	1
小売業	12
建設業	11
不動産業	3
サービス業	17
飲食業	4
農林水産業	0
その他	5
合計	52

(回答事業者の業種)

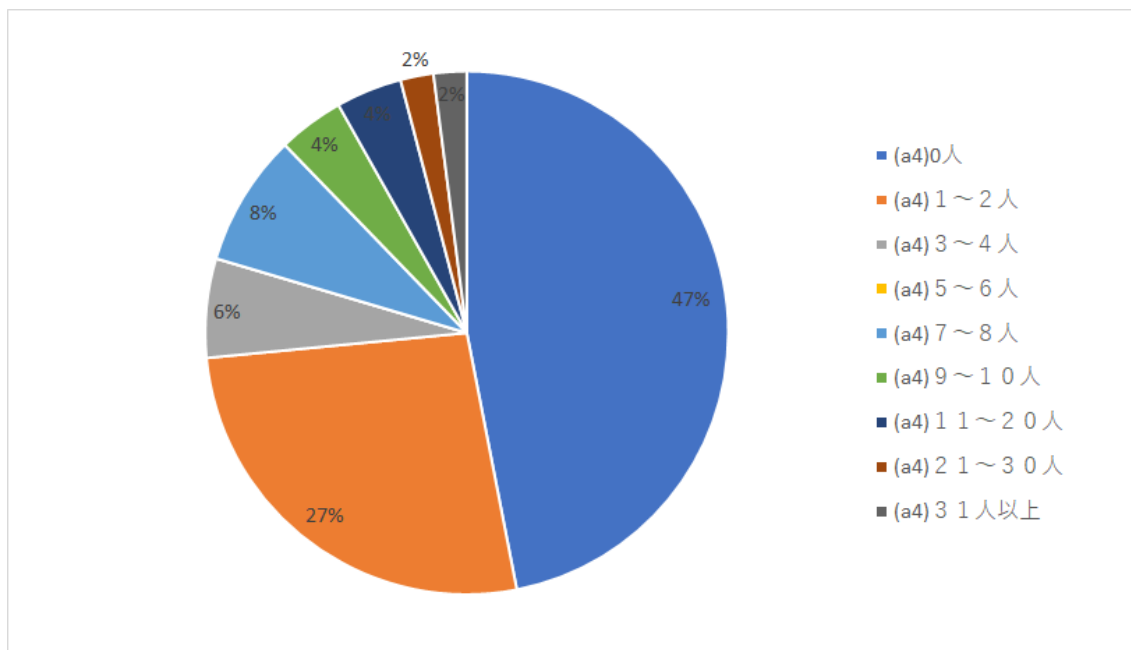
##### (2) 管内事業者の従業員の数構成

\*従業員：常時雇用の正規社員のこと。役員除く。個人事業の場合は、親族除く。パートやアルバイトは含まない

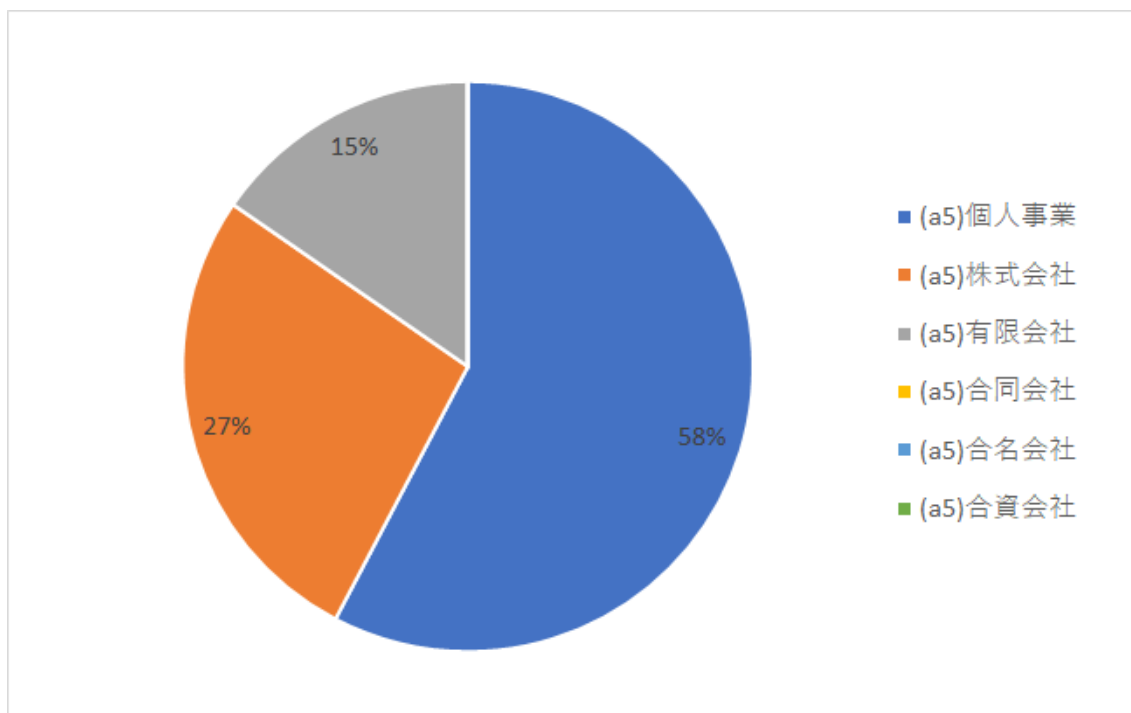


### (3) パート・アルバイトの雇用人数構成

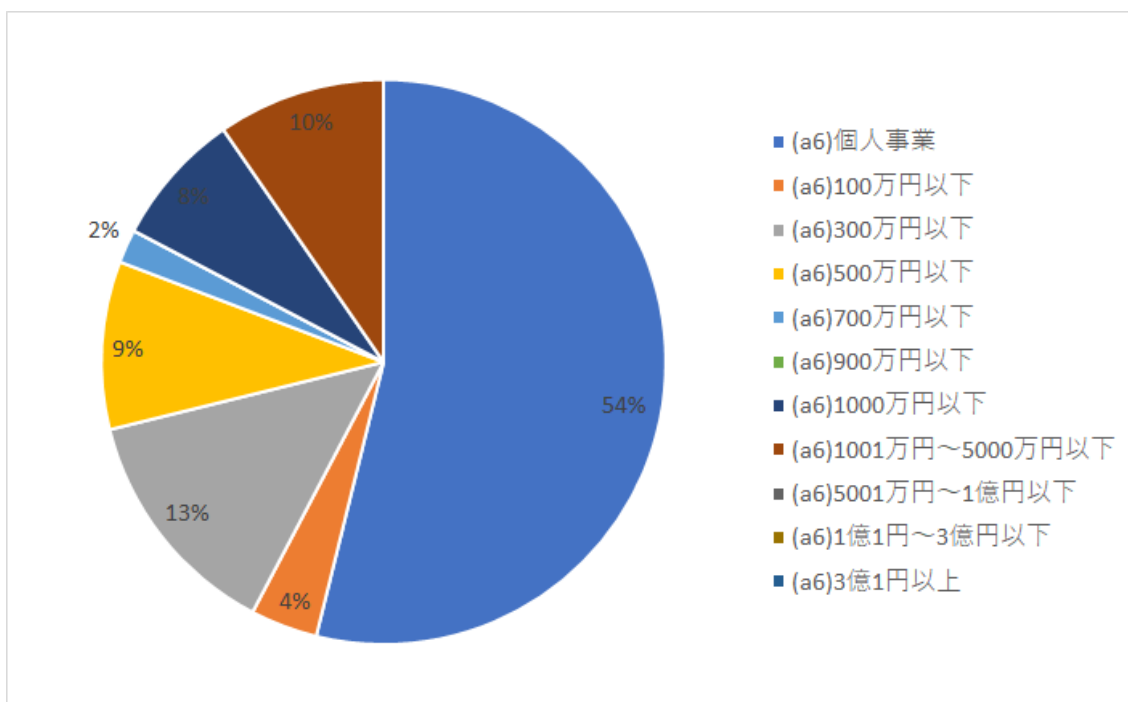
パート、アルバイト：時給を決め、時間管理で雇用している従業員



### (4) 事業形態



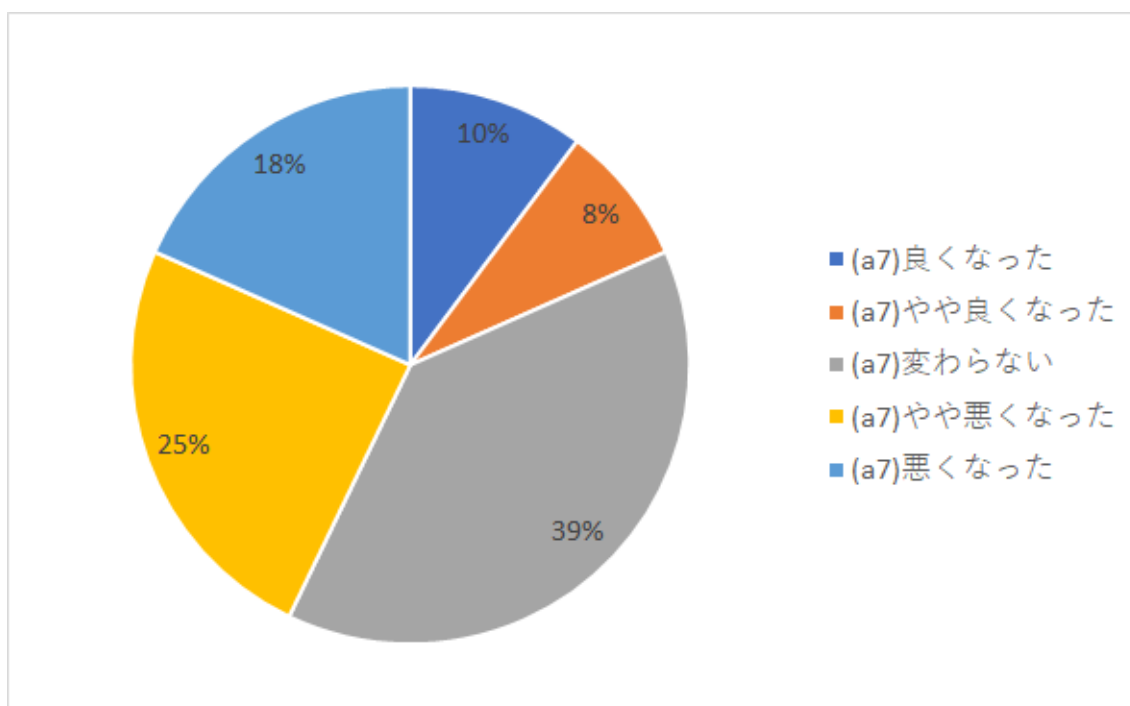
(5) 資本金の額



(6) 業績の結果の考察

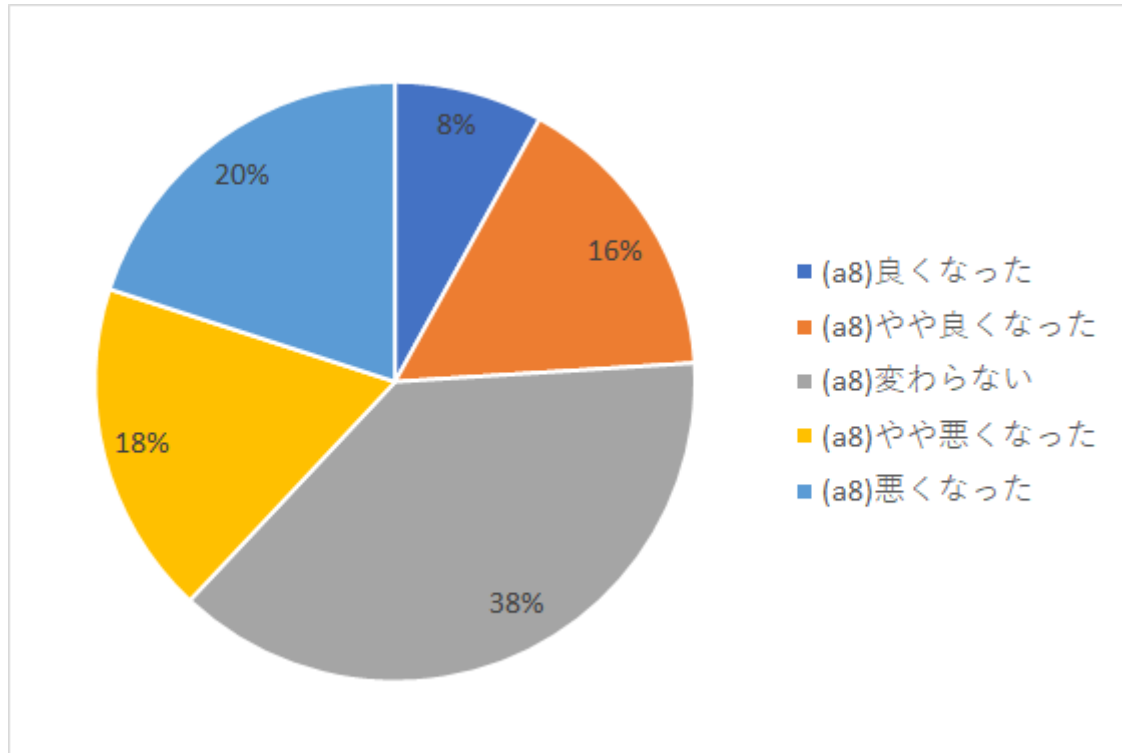
平成 31 年（令和元年）の業績の結果の解釈（平成 30 年比）

業績：売上-費用=利益



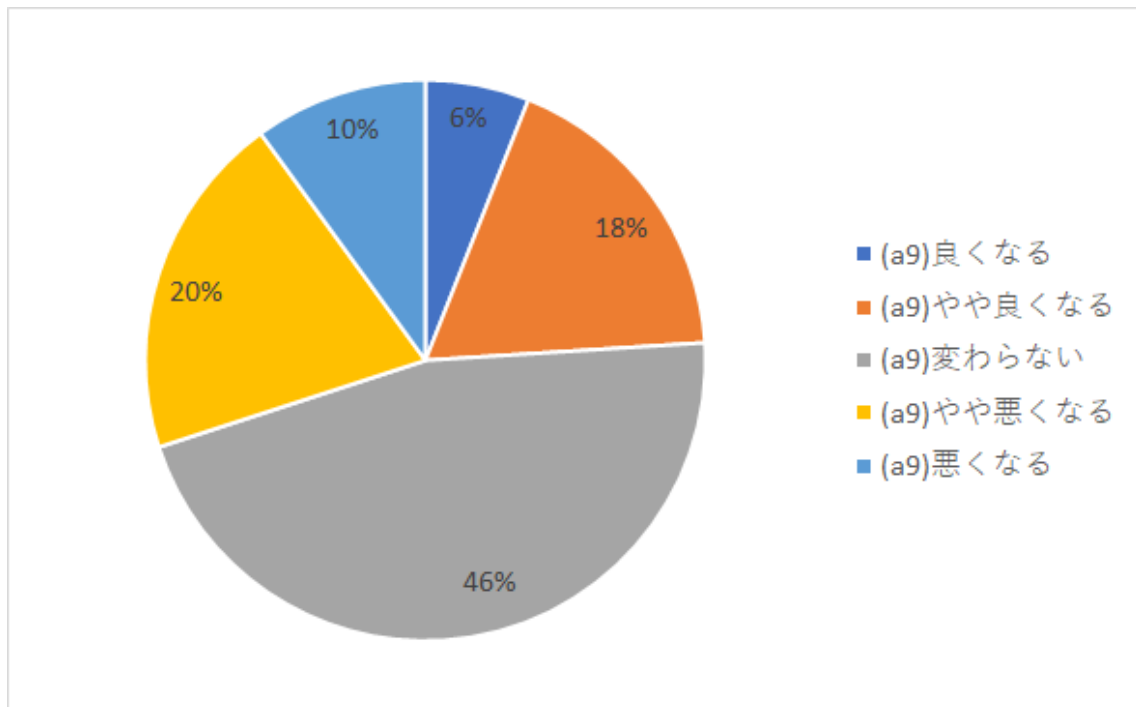
(7) 売上の結果の考察

平成 31 年（令和元年）の売上の結果の解釈（平成 30 年比）



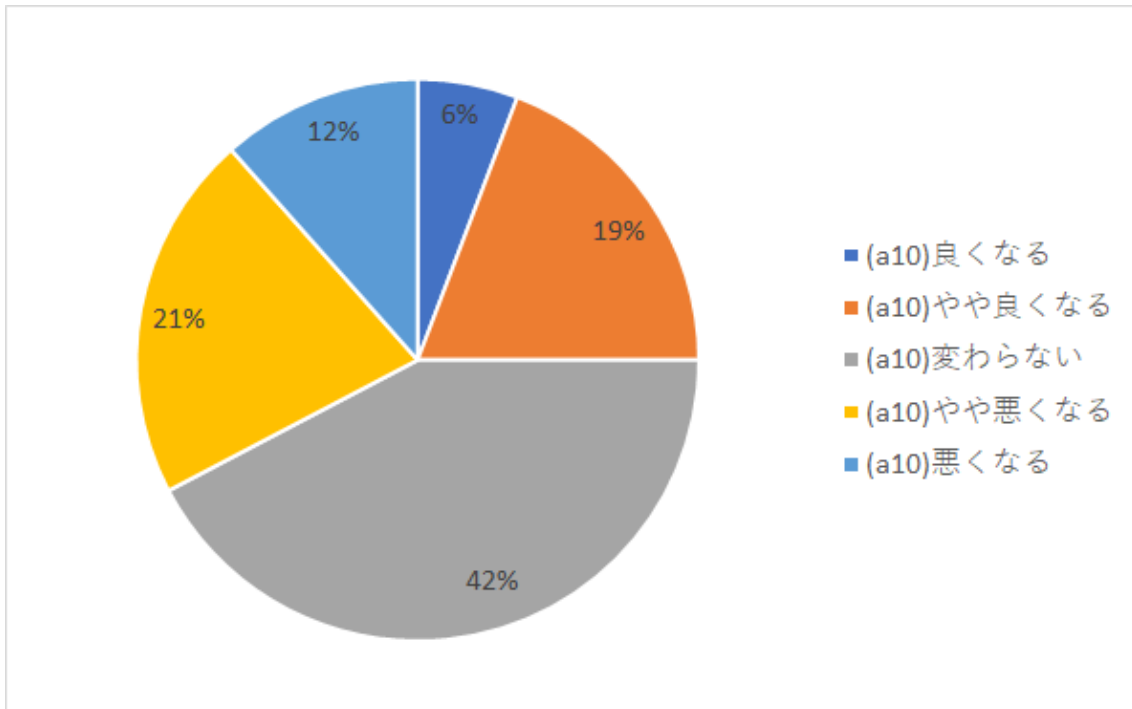
(8) 業績の見通し

令和 2 年の業績の見通し（令和元年比）



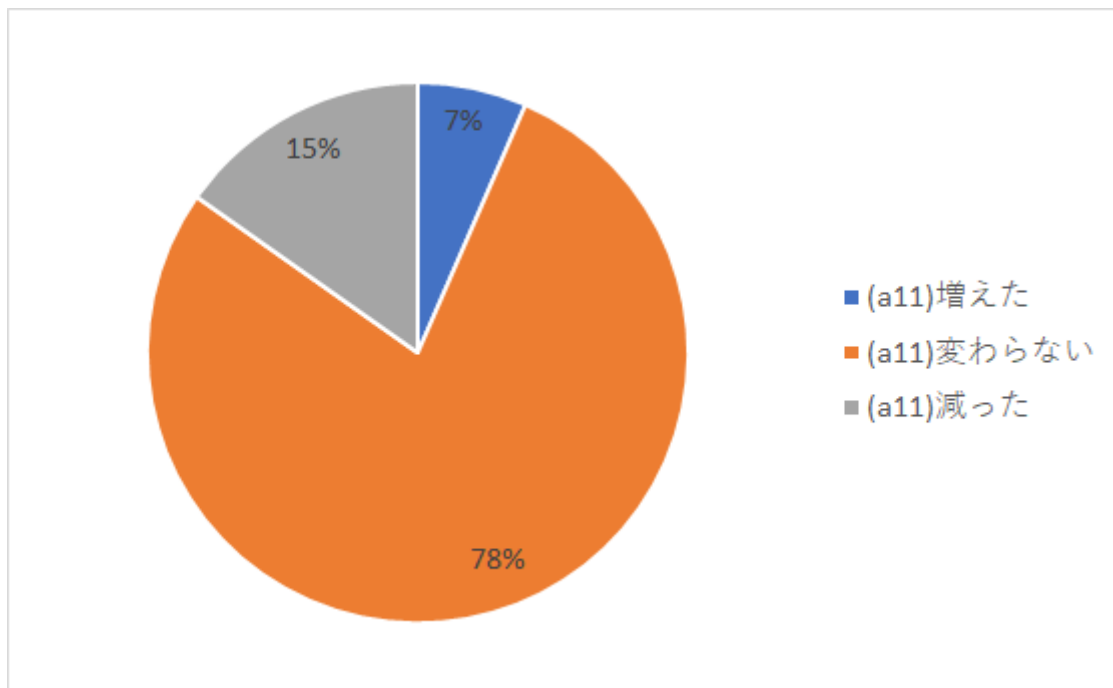
(9) 売上の見通し

令和2年の売上の見通し（令和元年比）



(10) 雇用の結果の考察

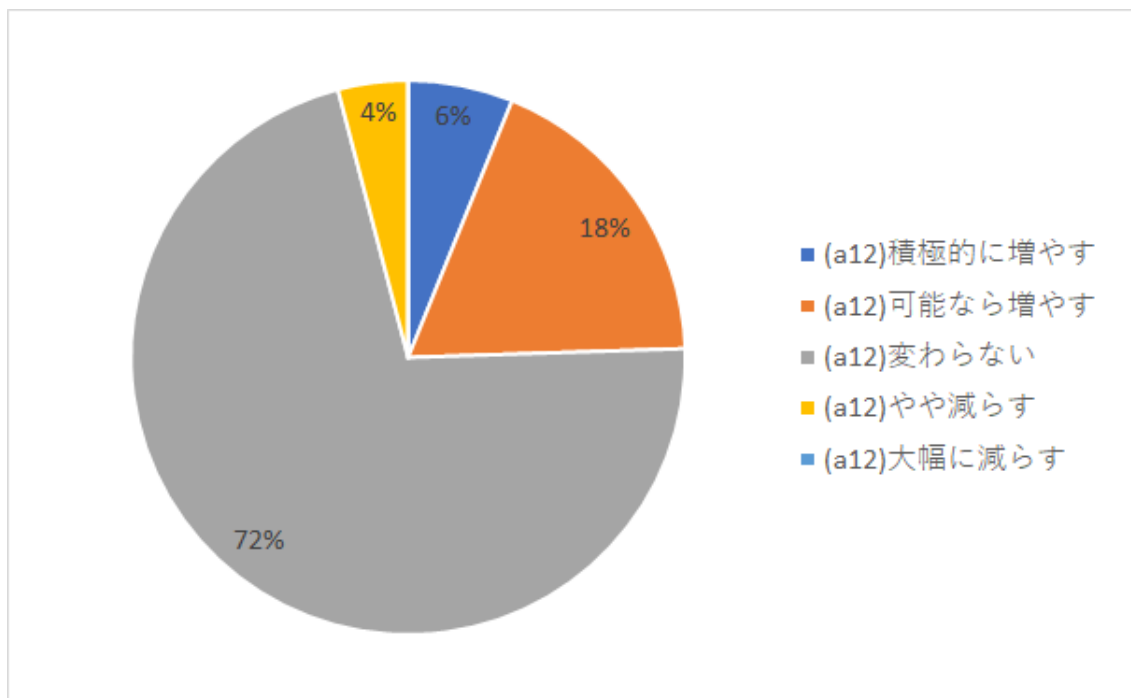
平成31年（令和元年）の雇用結果の解釈（平成30年比）



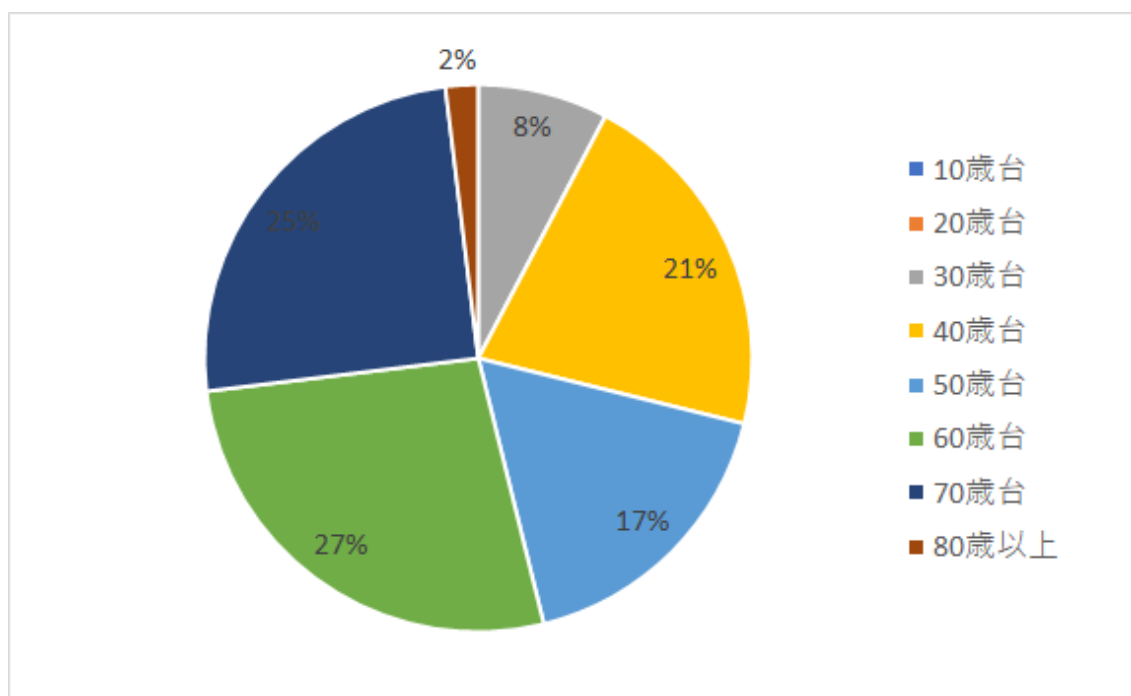


(11) 雇用の見通し

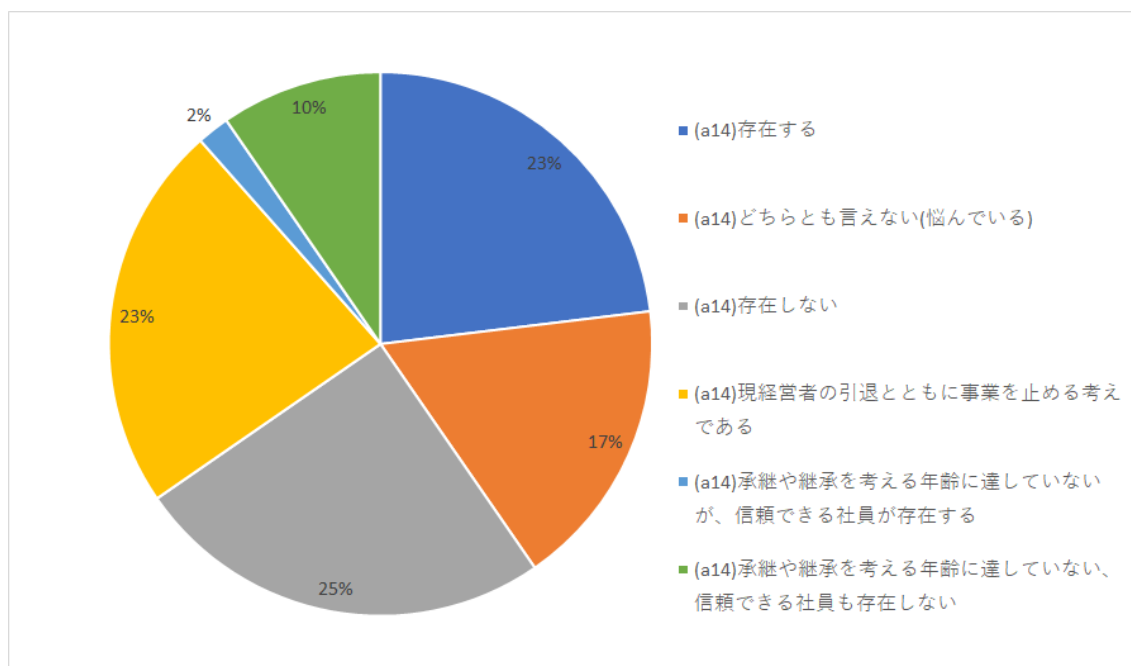
令和2年の雇用の見通し（令和元年比）



(12) 事業者の年齢構成比

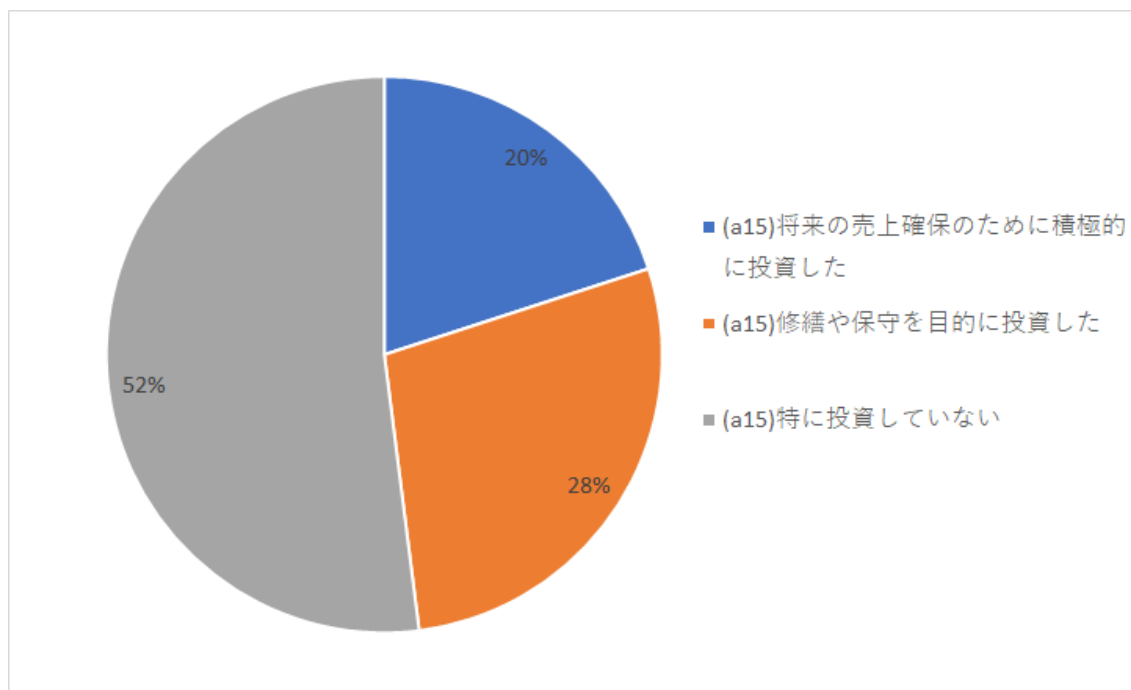


### (13) 社内外後継者候補の状況



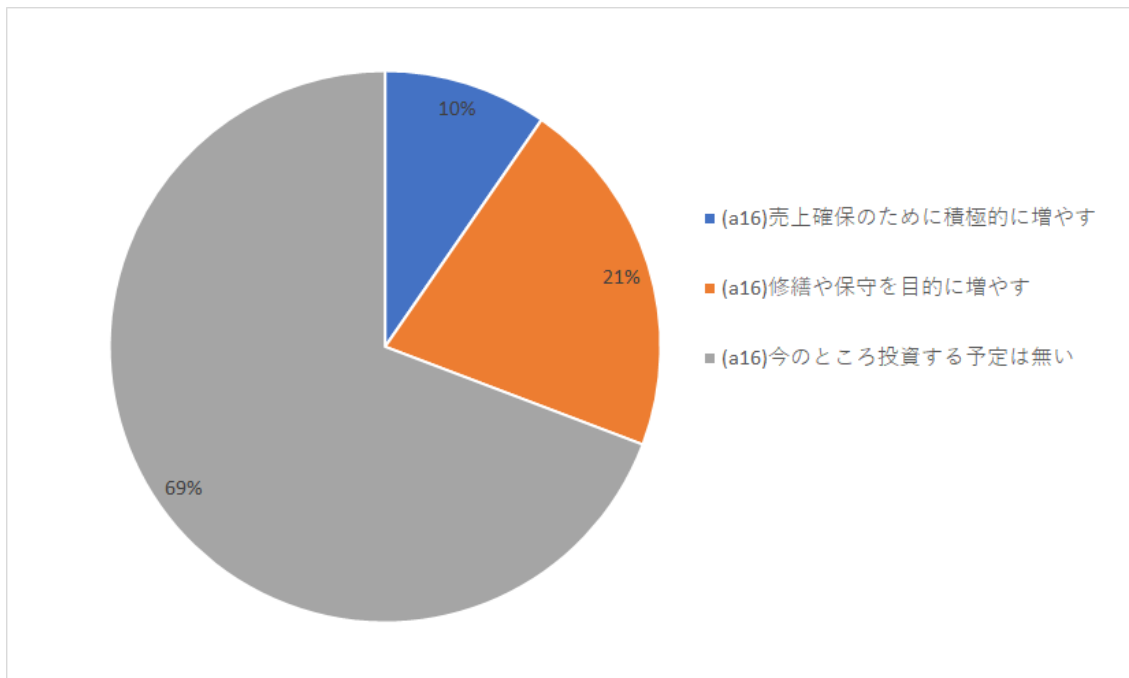
### (14) 設備投資の結果の考察

平成 31 年（令和元年）の設備投資の結果の解釈（平成 30 年比）



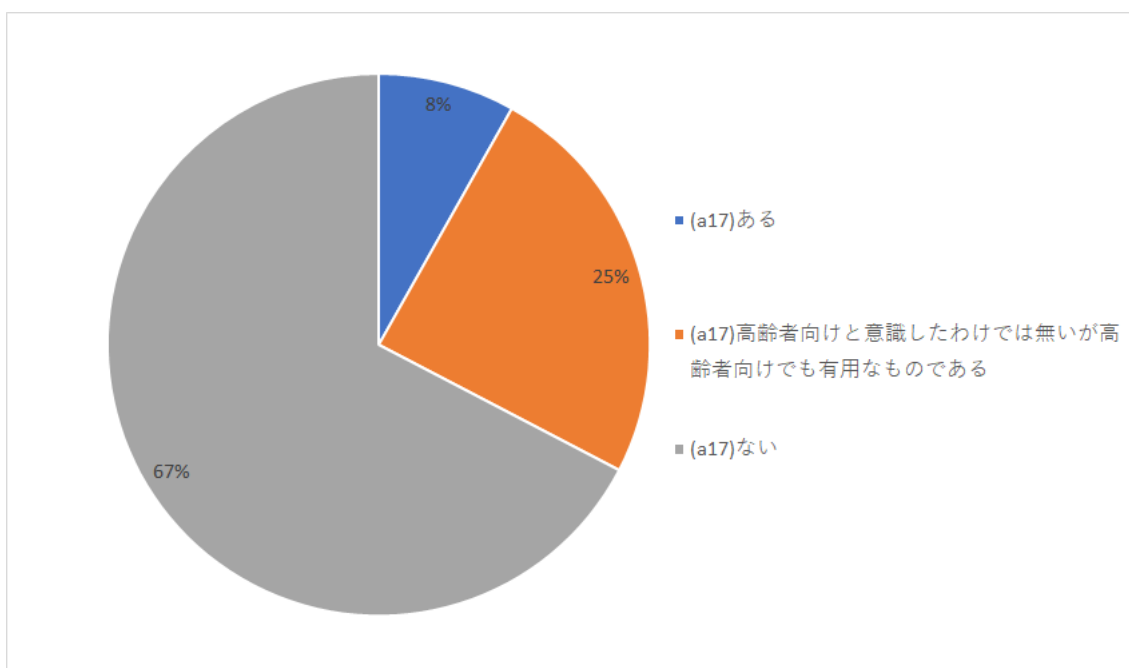
(15) 設備投資の見通し

令和2年の設備投資の見通し（令和元年比）



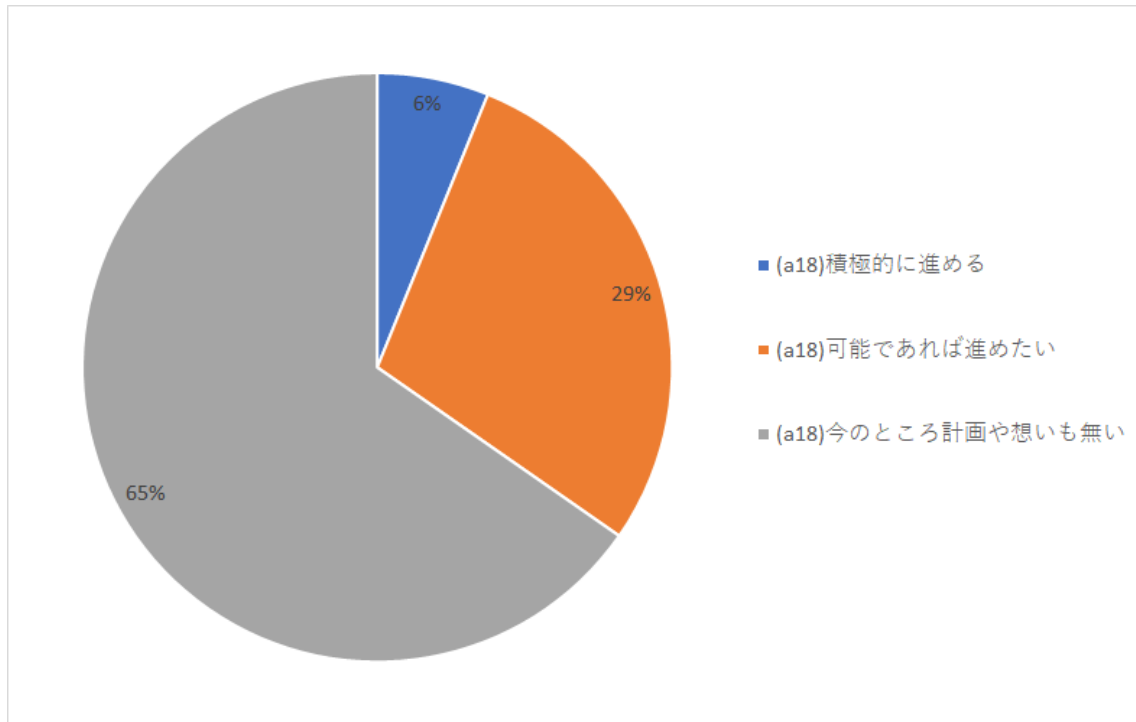
(16) 高齢者向け商品やサービスの取り組み実績

平成31年（令和元年）内の高齢者向け商品やサービスへの取り組み状況



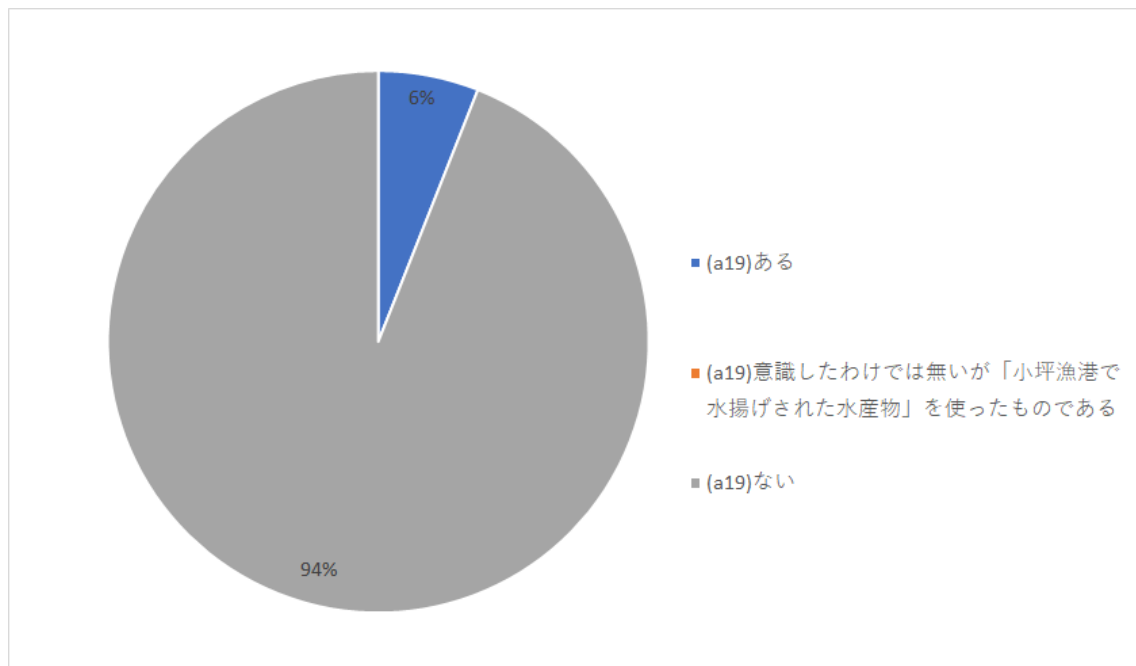
(17) 高齢者向け商品やサービスの取り組み見通し

令和2年の高齢者向け商品やサービスの取り組み見通し



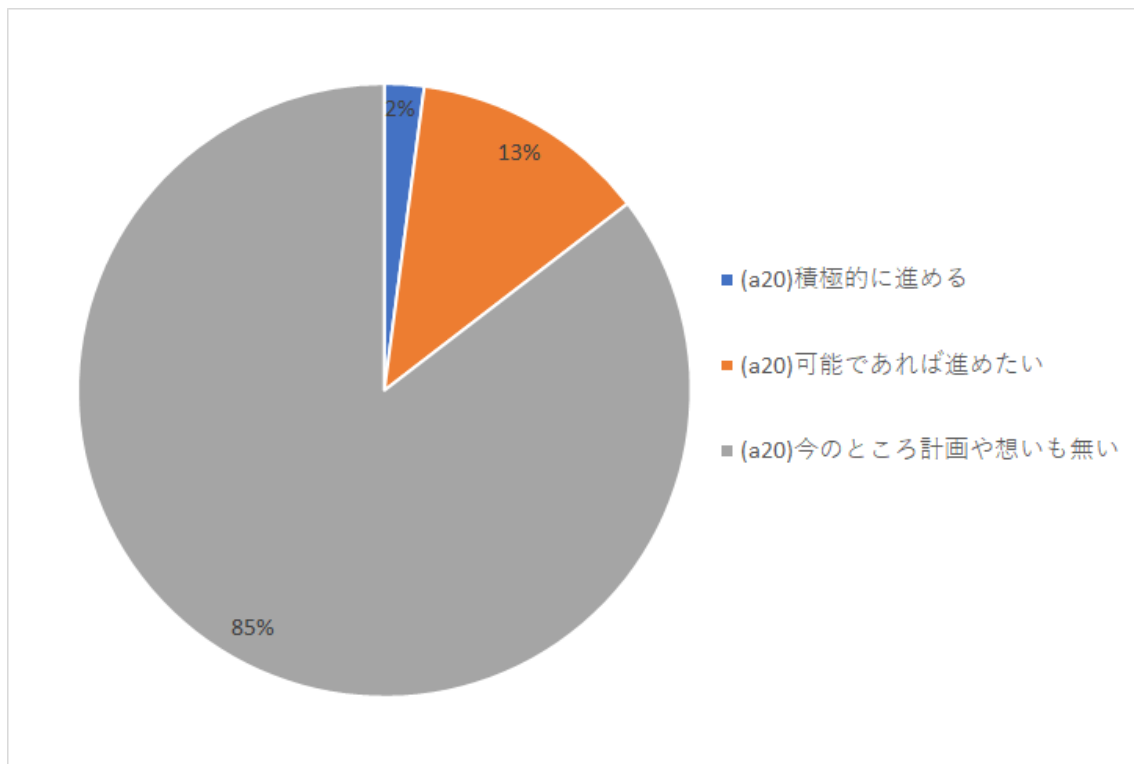
(18) 小坪漁港水揚げ水産資源活用実績

平成31年（令和元年）内の小坪漁港水揚げ水産資源を活用した商品やサービスの取り組み状況



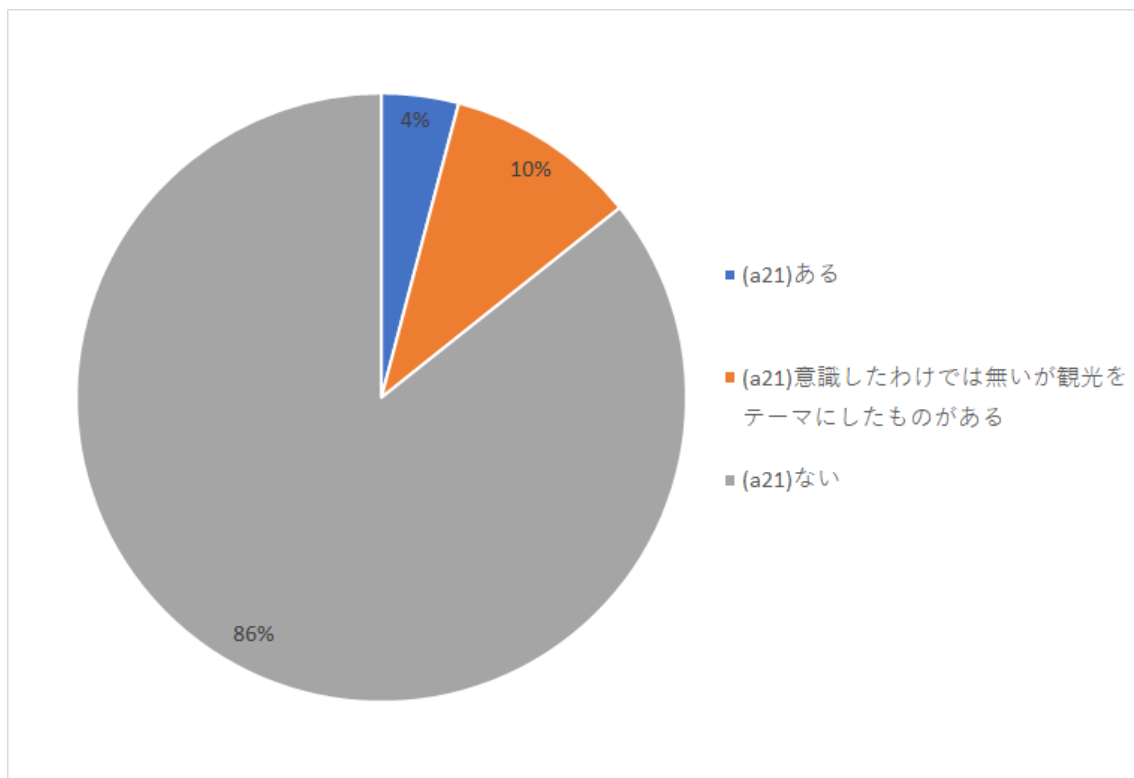
(19) 小坪漁港水揚げ水産資源活用 取り組み見通し

令和2年の小坪漁港水揚げ水産資源を活用した商品やサービスの取り組み見通し



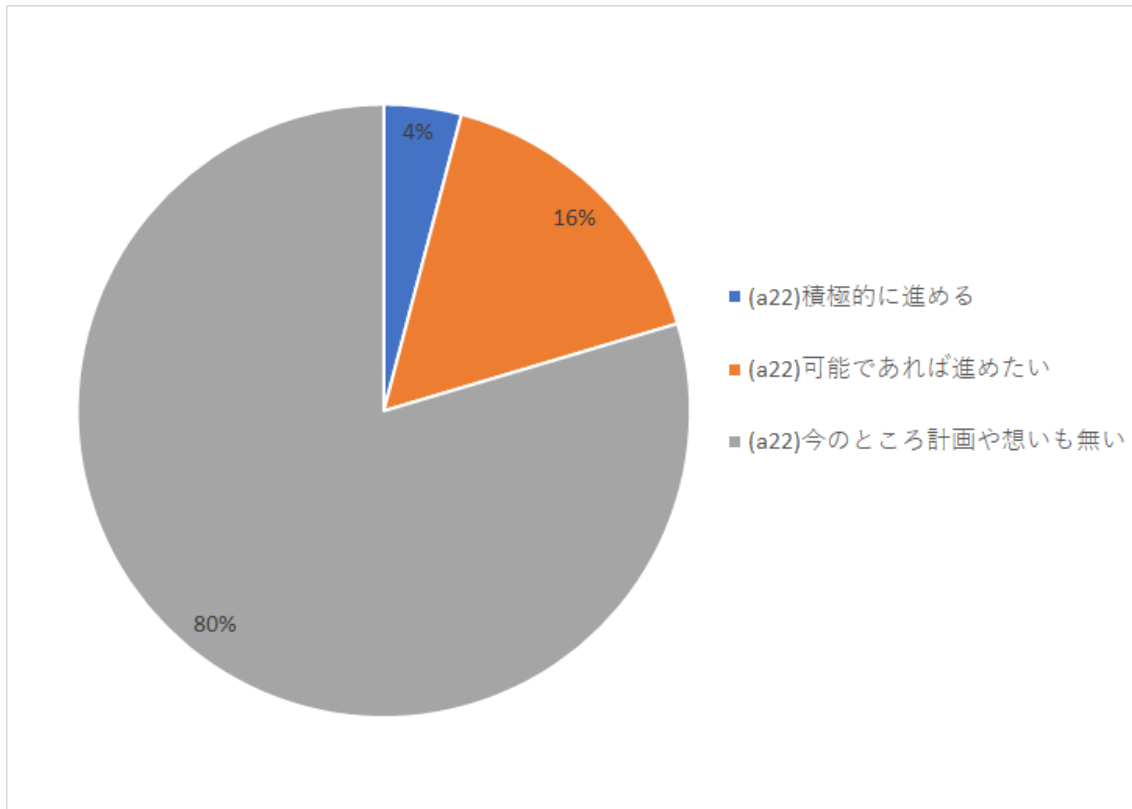
(20) 観光をテーマにした商品やサービスの取り組み実績

平成31年（令和元年）内の観光をテーマにした商品やサービスの取り組み状況



(21) 観光をテーマにした商品やサービスの取り組み見通し

令和2年の観光をテーマにした商品やサービスの取り組み見通し








## 5. 調査結果の視覚化（見える化）：景気動向指数

### ・本調査における景気動向指数の定義

本調査結果では、景気動向指数：ディフュージョンインデックス（略 DI）指数を採用し、地域経済の動向を見える化した。

具体的には、回答において「(やや) 良い」「(可能なら) 実施する」をDIでは強気（楽観的）（つまりプラスと表現）とし、「(やや) 悪い」「実施しない」をDIでは弱気（悲観的）（つまりマイナスと表現）とする。結果、景気動向指数は、強気、弱気の回答割合の差で示すことになる。

なお、その割合の区分に応じて、天気図を採用し、さらに視覚的に認識しやすいように工夫している。

DI	天気図
30.1 以上	
10.1~30.0	
10.0~△10.0	
△10.1~△30.0	
△30.1 以下	

例えば、平成31年（令和元年）の売上高が、以下のような回答の場合、経営者の平成31年の売上結果は、強気（楽観的）であったことが視覚的にわかるようになる。









売上高 良い50% 変わらない30% 悪い20%

(50% - 20% = 30%)

### ・本調査における留意点

前回調査では、各業種毎にDI指数を表現したが、本調査においては、サンプル数不足のため、全産業のDI指数と、逗子市商工会オリジナル指数のみ報告する。

・全産業の DI 指数（全産業の景況天気図）

	業績		売上		設備投資	
令和元年結果	△25		△10		△4	
令和2年予想	△6		△8		△38	

・逗子市商工会オリジナル指数

調査の結果、逗子市商工会管内の地域経済動向を垣間見ることができたが、より逗子市商工会管内に適した管理指数として、以下の4つの指数を提案する。






指数名称	需要影響視点	
事業承継対策実施 意識指数	内需と外需の維持	逗子市商工会管内の事業者の事業継続は、地域経済の活況や躍動に非常に大きなインパクトを与える。そこで、経営者の事業承継対策の意識の向上と推進を目的に、本指数を設定する。なお集計対象は全業種で全産業として表現する。
高齢者向け商品サービス開発 意識指数	内需の拡大 域外への需要 漏出防止	逗子市は神奈川県の中でも高齢化が著しい地域である。逗子市商工会管内の事業者が高齢者（介護含む）対策の商品やサービスを開発し販売していかなければ、域外から需要（市場）を奪われることになりかねない。そこで、経営者の高齢者向け商品やサービス開発の重要性の認識を促進するために本指数を設定する。なお集計対象は全業種で全産業として表現する。一見無関係と思われる業界



		でも「高齢者向け」は無関係では無い。例えば不動産業では、単身高齢者向け集合住宅の仲介等々のサービス提供が考えられるからである。
小坪漁港水産資源活用 意識指数	外需の拡大	<p>逗子市唯一と言っても過言ではない一次産業の担い手は小坪漁港の漁師である。次代に一次産業を残し、さらには外需を獲得していく上でも、小坪漁港で水揚げされる水産資源を活用した商品化やサービス化は進めていきたいところである。そこで経営者の小坪漁港の認知、さらには水産資源の活用の意識向上を目的として、本指数を設定する。なお集計対象は全業種で全産業として表現する。一見無関係と思われる業界でも</p> <p>「小坪漁港や水産資源」は無関係では無い。例えばサービス業では、個々の漁師の通販サイト構築による直販システムの構築等々、無限の可能性を秘めているからである。</p>
逗子市観光資源活用 意識指数	外需の拡大	逗子市は、隣接する鎌倉市等々と比較し観光資源を活用した商品やサービスが少ない。逗子市地域のさらなる経済飛躍を考える上で、観光資源を開発し、それを

	<p>活用した商品やサービス化の推進は、域外からの購買人口流入のみならず、域外での購買人口の獲得にもつながる。そこで、経営者の観光資源の開発並びに活用したビジネス展開意識の向上を目的に、本指数を設定する。なお集計対象は全業種で全産業として表現する。一見無関係と思われる業界でも「逗子市観光資源」は無関係では無い。例えば建設業では、逗子海岸が一望できる分譲マンションの建設の受託等々、無限の可能性を秘めているからである。</p>
--	---

本指数の見える化にも天気図を採用する。具体的には、回答において「存在する」「進める」等の趣旨を強気（楽観的）（つまりプラスと表現）とし、「存在しない」「思いがない」等の趣旨を弱気（悲観的）（つまりマイナスと表現）とする。結果、指数は、強気、弱気の回答割合の差で示すことになる。


指数	天気図
60.1 以上	
30.1～60.0	
30.0～△30.0	
△30.1～△60.0	
△60.1 以下	

・オリジナル指数の集計と結果

〈事業承継対策実施 意識指数〉

	指数	
令和2年予想	△37	

〈高齢者向け商品サービス開発 意識指数〉

	指数	
令和2年予想	△30	

〈小坪漁港水産資源活用 意識指数〉

	指数	
令和2年予想	△70	

〈逗子市観光資源活用 意識指数〉

	指数	
令和2年予想	△60	

## 7. 調査に関するお問合せ先

逗子市商工会 小牧宛て